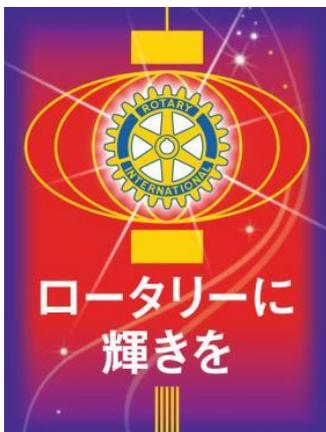


2014-15年度のための ロータリー財団



The
Rotary
Foundation



2014-15年度のための 地区研修・協議会

(2014年4月19日)

2014-15年度 ロータリー財団委員会
委員長 溝畑正信

地区ローター財団部門組織(2014-15)

地区財団監査委員会 委員長:岡部泰鑑

ローター財団委員会 委員長:溝畑正信

①補助金小委員会 委員長:四宮孝郎

◆地区補助金・グローバル補助金担当グループ

リーダー:大野康裕

◆奨学金・学友・ローター平和フェロシップ担当グループ

リーダー:阪上博史

◆職業研修チーム担当グループ

リーダー:川本典美

②資金推進小委員会 委員長:松下和彦

③ポリオプラス小委員会 委員長:木村芳樹

④地区財団資金管理小委員会 委員長:片岡利雄

ロータリー財団

財団の標語
財団の使命

世界で良いことをしよう

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

6重点分野



平和と紛争予防／紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生



母子の健康



基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展

【ロータリーに輝きを】

ゲイリー C.K. ホアン 2014-15年度RI会長

世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。

地元地域社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりになるでしょう。



ゲイリー C.K. ホアン
2014-15年度RI会長



The
Rotary
Foundation



2014-15年度財団管理委員長
ジョン・ケニー

THE FUTURE OF ROTARY IS IN
YOUR HANDS

「ロータリーの未来はあなたの手に」

【2014-15年度ロータリー財団の目標】

1. ポリオを撲滅する。今こそ目標を達成しよう。
2. 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
3. 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確かなものとする。
4. ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。
5. ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを強調する。

国際ロータリーの「第一の目標」

(国際ロータリーの特別プログラム)

ポリオ撲滅 END POLIO NOW

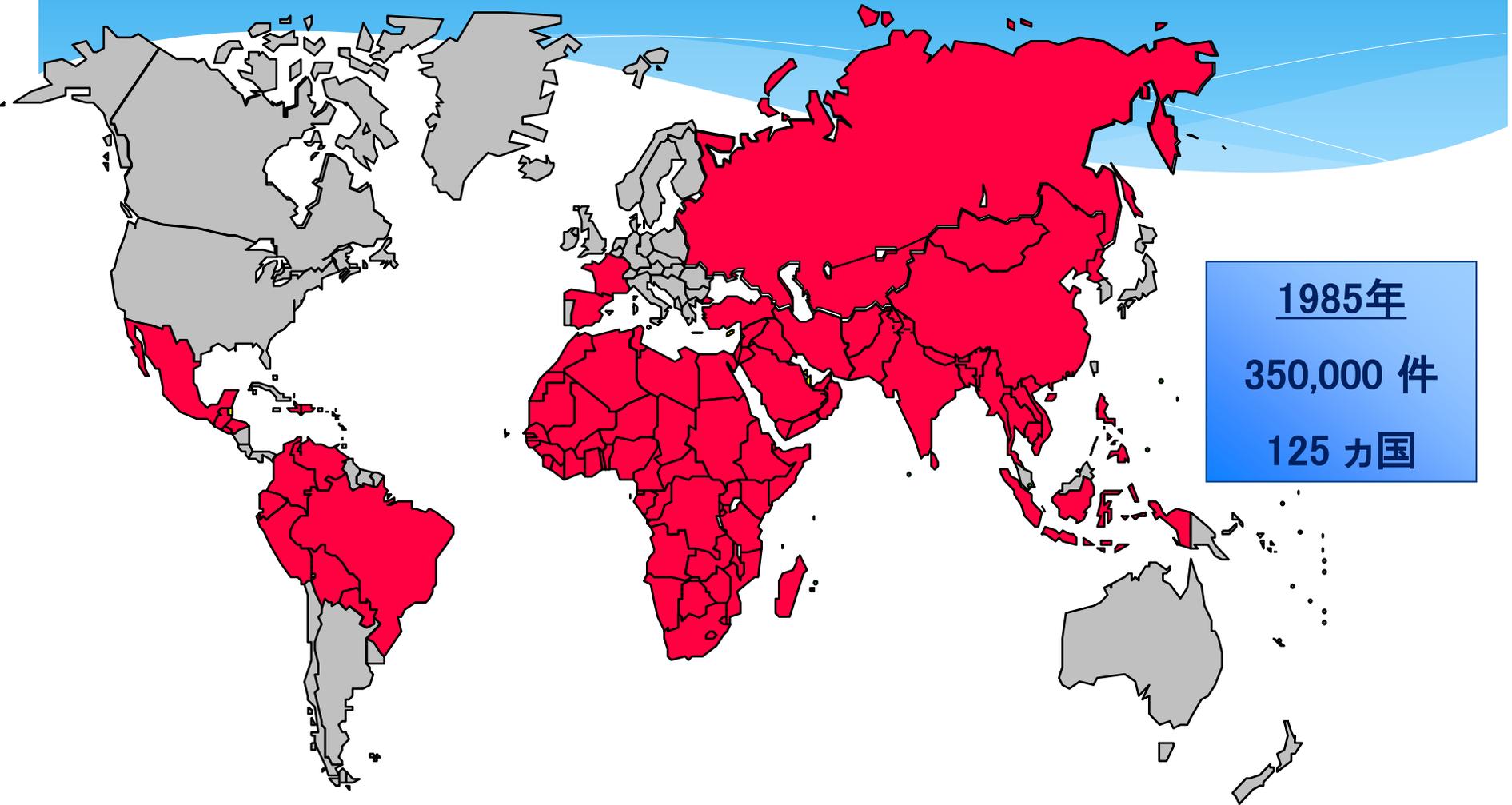
1995年の規定審議会は、世界がポリオから解放されたと証明される日が来るまで、ポリオ撲滅がロータリーの第一目標であると決定



【ポリオ撲滅戦略計画2013-18】

「あと少し」のこの大事な機会にいっそうのご協力を

ポリオ撲滅の進歩



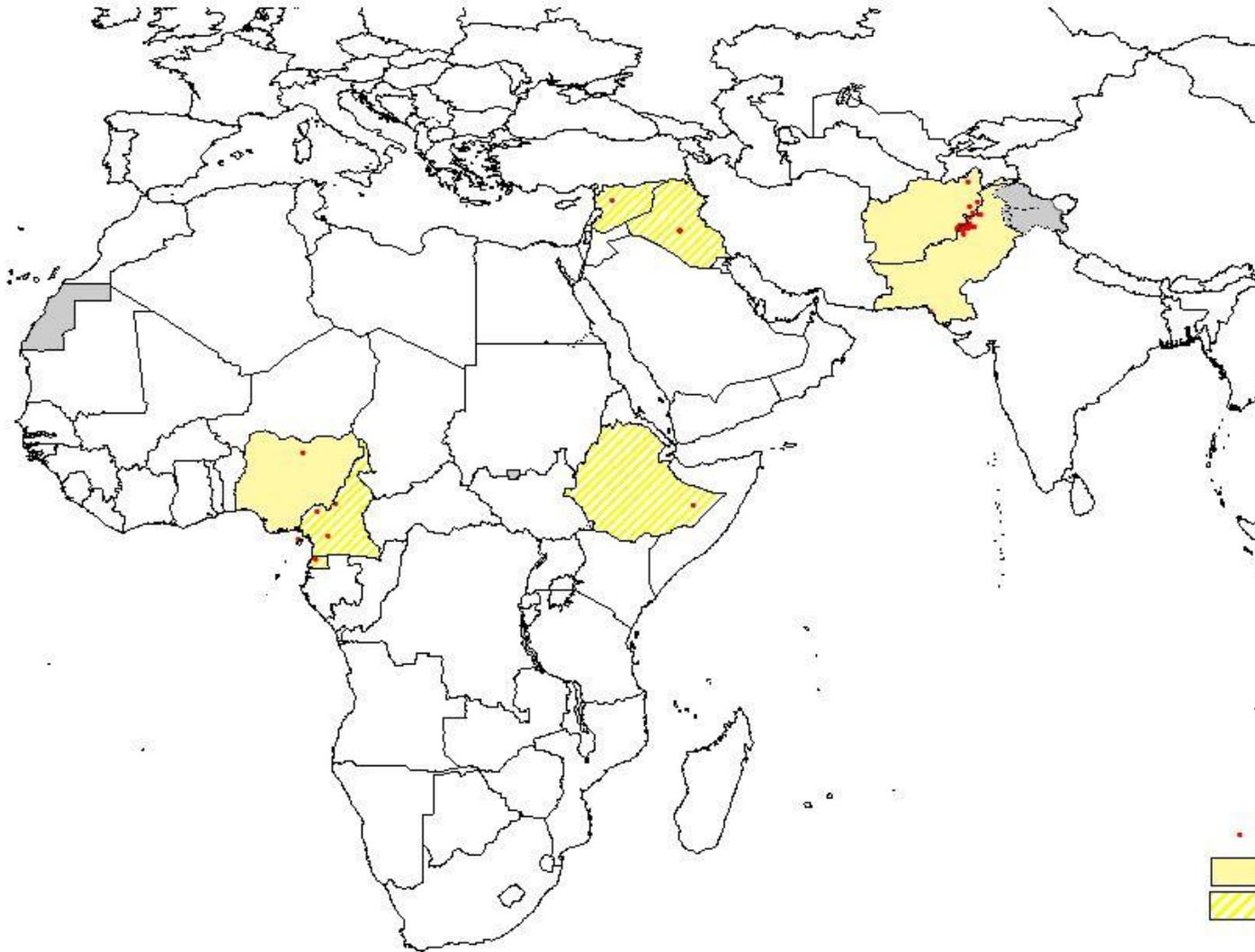
1985年

350,000 件

125 カ国

Wild Poliovirus - 2014

01 January - 08 April



Excludes vaccine derived polioviruses and viruses detected from environmental surveillance.

ポリオに関する統計

国・地域の発症件数

	2014年4月8日	2013年
アフガニスタン	4	14
パキスタン	43	93
ナイジェリア	1	53
常在国以外	8	246
全世界合計	56	407

現在、ポリオ常在国は
アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3 か国です。



ロータリー平和フェローシップ

**国際関係、平和研究、紛争解決と
その関連分野の修士号、あるいは平
和と紛争解決の分野の専門能力修
了証の取得を目指す学生にロータ
リー平和フェローシップを提供**



世界のロータリー平和センター提携大学

- * ブラッドフォード大学
英国(イングランド)、ウエスト・ヨークシャー
- * デューク大学及びノースカロライナ大学チャペルヒル校
米国、ノースカロライナ州ダラム、チャペルヒル
- * 国際基督教大学
日本、東京都三鷹市
- * クイーンズランド大学
オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベーン
- * チュラロンコーン大学(3ヶ月)
タイ、バンコク
- * ウプサラ大学
スウェーデン、ウプサラ



ロータリー平和フェロー学友 寺西悦子さん(平和フェロー第4期生) (RI第2660地区茨木東ロータリー・クラブ推薦)

2008年にオーストラリア、クイーンズランド大学のロータリー平和センターを卒業



JICA(国際協力機構)での技術研修員受入の仕事を経て、IOM(国際移住機関)のネパールにて人身取引被害者支援、労働移民管理の業務に従事し、2012年からは北部ケニアの難民キャンプにて平和構築・人道支援に従事。

ロータリー財団学友

1947年以来、財団からプログラム補助金(奨学金)を受けた116,000以上の人々

国際親善奨学生、グローバル補助金奨学生、ロータリー平和フェロー、研究グループ交換または職業研修チームのチームリーダーとメンバー、大学教員のためのロータリー補助金の受領者、ロータリーのボランティアを対象とする各種補助金の受領者が含まれる

第3回「日本ロータリー学友会」全国大会

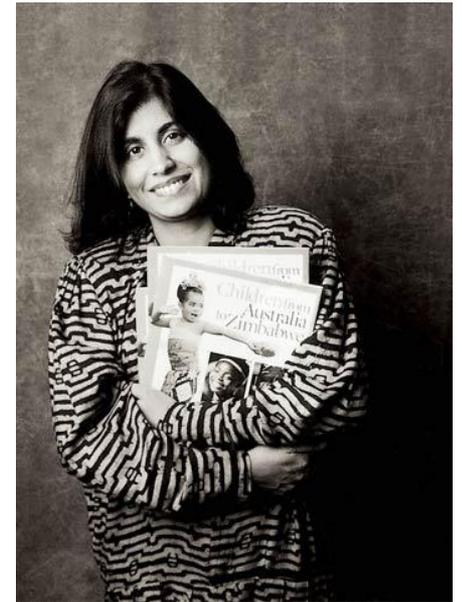
(2013年11月30日 東京、如水会館)



グローバル、地区派遣奨
学生に共通して、派遣対象
となる要件を広げ芸術系
(特に音楽)、基礎学問(歴
史、文化など)を組み入れ
ることを提案

2013-14年度 ロータリー財団学友人道奉仕世界賞

第33ゾーン推薦、[Maya Ajmera](#)氏に授与
第5240地区(米国)推薦、国際親善奨学生
としてインド(第3140地区)のボンベイ大学へ留学
[Global Fund for Children](#)の創設者、
世界中で子どもと青少年保護の活動。
現在、ジョンズ・ホプキンス大学の
「The Paul H. Nitze School of Advanced
International Studies」にて、客員研究員
ならびに講師
受賞者はシドニー国際大会で表彰



補助金構成

2012-13まで

地区補助金(DSG)
マッチング・グラント
国際親善奨学金
研究グループ交換

廃止

2013-14から

地区補助金(DG)
グローバル補助金
パッケージ・グラント

ロータリー平和フェローシップは変更なく、継続

ロータリー補助金プログラム

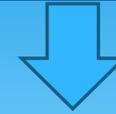


グローバル補助金

奨学金

人道的プロジェクト

VTT



地区補助金

奨学金

人道的プロジェクト

VTT



平和フェローシップ

地区補助金

- 財団の使命に沿った教育的・人道的活動
- 年に1度、地区に一括で支給
- 小規模な活動やプロジェクト
- 地元または海外での活動



グローバル補助金

- 長期のプロジェクト
- 大きい授与額
- 持続可能・測定可能な成果
- 重点分野と一致
- 国際財団活動資金(WF)による上乗せ



2660地区の地区補助金（2013-14年度）

活動	件数	平均補助金額
社会奉仕	25	41万円
奨学金	1	
人道的国際奉仕	10	38万円
災害復興	8	42万円
申請クラブ数と補助金総額		44件（1,700万円）

2660地区人道的国際奉仕活動 グローバル補助金 承認済みプロジェクト(2013-14年度)

1	疾病予防と保健 (茨木西RC) リハビリ施設増築と理学療法士の育成(カンボジア)	\$100,957
2	基本的教育と識字率向上(大阪梅田RC) 視覚障害者支援(デジタル図書と教育)(台湾)	\$68,314
3	基本的教育と識字率向上(大阪心斎橋RC) 英語教育支援(辞書寄贈と教員の育成)(タイ)	\$63,000
4	水と衛生(豊中RC) 清潔な水の供給(浄水器設置)(タイ)	\$37,275
5	水と衛生(新大阪RC) 飲料水の供給(井戸と給水パイプの敷設)(トルコ)	\$57,000

2660地区グローバル奨学金 承認済プロジェクト(2013-14年度)



①女性(大学院生)(大東RC)

モンレー国際大学院(米国カリフォルニア州)

核不拡散とテロリズム

(総予算) 43,400ドル



②女性(医師)(千里RC)

ハーバード公衆衛生大学院

脳卒中の臨床研究

(総予算) 74,000ドル

ロータリー財団への寄付をお願いします

* 年次基金寄付

目的: 3年後の活動資金

地元や海外で実施される ロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源

* 恒久基金寄付

目的: ロータリー財団とそのプログラムや補助金の長期にわたる存続を確実にする。

恒久基金の投資収益の一部を使用

* 使途指定寄付

目的: あらかじめ使い道を決めて寄付するもの(ポリオ・プラス、ロータリー平和センター、など)。

地区内クラブの年次基金

50%

地区財団活動資金(DDF)

50%

国際財団活動資金(WF)

ポリオ・プラス
ロータリー平和センター
その他

マッチング

地元と海外における
奉仕の充実

地区補助金
(DG)

グローバル補助金
(GG)

パッケージ・グラント
(PG)

Doing good in the world

The
Rotary
Foundation



『ロータリーに輝きを』
すべてのクラブ、地区、そして活動
するすべての国で、日々、人々の
ために何ができるか。